

(12月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
みかん類		35,098	105	36,934	243	89	220	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・早生みかんは11月中下旬にピークを迎えた。11月下旬から中生種に変わる。本年の温州みかんは表年にあたり、入荷量は各産地とも前年を上回る見込み。 ・階級は全般的に小玉果比率は高く、M、Sサイズ中心。食味は平年より良好。 ・価格は前年を下回る見込み。
りんご(ふじ)		6,536	100	5,799	195	99	244	1,305	20	<ul style="list-style-type: none"> ・青森産を中心に長野、山形産が出回る。本年のりんごについては気象災害もなく、上位等級品が多い。長野産は台風被害の影響は少なく入荷順調の見込み。 ・12月はギフト需要も高まり、大玉果の入荷量が増加する。 ・果実総体の販売は厳しいが、ふじの大玉果については前年並の見込み。
いちご類		3,198	100	3,227	1,402	94	1,576	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・定植が順調に推移したことから、12月の入荷は順調の見込み。15日過ぎから年内ピークを迎える。 ・クリスマス前が最需要期となるが、業務需要は依然厳しく、価格は弱めの展開。
かき類		3,060	105	2,926	232	97	266	60	2	<ul style="list-style-type: none"> ・富有柿中心の入荷となる。各産地とも前年に比べ、入荷ペースは早い。 ・福岡、奈良産とも12月上旬に生柿が終了し、中旬から冷蔵ものに切り替わる。奈良産は少なかった前年の2割増。 ・価格は前年より安い堅調に推移する見込み。
メロン類		1,040	95	1,184	823	102	812	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡を中心に熊本、宮崎、高知産産が入荷する。静岡産は作付けは横ばいだが、西南暖地産は生産縮小傾向のため、総体的な入荷量は前年より減少の見込み。 ・ギフト商材であるアールスメロンは不足感があるものの、価格は前年並の見込み。
ほしがき		685	88	744	1,538	109	1,563	59	8.6	<ul style="list-style-type: none"> ・長野産を中心に福島、富山、山梨産が入荷する。 ・原料柿の作柄は不良であり、生産量は大幅減と懸念される。 ・価格は前年よりも高いが、高騰はない模様。

(12月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	